

桑名市議会議長  
伊藤 真人 様

第4班 班長  
渡邊 清司 印

### 議会報告会実施結果報告書

開催日時	平成29年10月30日（月）18時30分 ～ 20時00分		
開催場所	大山田公民館		
出席議員	班長	渡邊 清司	
	司会	水谷 義雄	記録者 大森 啓
	倉田 明子	辻内 裕也	
参加人数	9人		
議会報告の概要	開会あいさつ 各議員紹介 平成29年6月定例会、平成29年9月定例会の報告 平成28年度決算の報告 意見交換		
主な意見・要望	(仮称)まちづくり協議会のあり方 学区、自治会、投票所のマッチング マンモス校大山田東小への対応 地域防災について 補助金について 別紙のとおり		
備考			

## 議会報告会記録

### 【第 4 班】

開催日時	平成29年10月30（月）18時30分～20時00分	
開催場所	大山田公民館 2階大研修室	
参加人数	9人	
意見交換	質 問	回 答
	※地域コミュニティ担当者と話している。大山田地区も来年度からは地域常駐担当職員と話を進めてほしいとのことである。窓口でということだけで地域の人たちが受け持つなら負担にもなる。筒尾連合会は高齢者が多く活性化といっても難しいと思う。公民館も変わると聞く。使い勝手のいい施設ということだが、地域の業務も縮小していく中で、メリットがみえず、地域のことは地域の人がどんな恩恵を受けるのか説明を求む。	※(仮称)まちづくり協議会について、メリット・デメリットという以前に、連合会がそのまま移行することもNPOや企業を巻き込むこともあるものとして想定されている。また交付金が支出されるので使い道も地域で考えてほしい。 連合会と(仮称)まちづくり協議会は違う組織として考えていただきたい。ただ、時期的にまだ具体的には見えてこないもので、市当局への更なる聞き取り、話し合いをするよう投げかけているところである。いまだ納得していない方も多いということで本日の件も伝える。
		(仮称)まちづくり協議会と連合会は違うものだということをご理解いただきたい。手法、人員配置はいろいろ考えられるし提言する。
	※ (仮称)まちづくり協議会の意味は分かる。議会での水道料金値上げの説明が拙速だ。値上げは理解できる。しかし水道料金値上げは審議会が決めている。市長の言う全員参加型に見合うかどうか。周知徹底が望まれる。こうした報告会も橋渡しをしてほしい。	※大山田は地区市民センターがそのまま残るので今年度内の説明会は考えていなかったとのことだが、今の話を踏まえ市当局に上げる。パイプを太くするように議会も努める。
	(仮称)まちづくり協議会については、今年度の地域の総会では聞かなかった。連合会のみならず地域の自治会にも諮ってしかるべきでは。来年度の総会で説明してほしい。水道料金についても同じ。意見を吸い上げるパイプが細すぎるのでは。地域課題が増え	

	<p>る中、まちづくりの意義はよくわかる。しくみとして、松戸市の「なんでもやる課」ではないが、市の政策や市長の思いが市民に届かないと。</p> <p>⇒市の職員は2, 3年で配置替えがある。(仮称)まちづくり協議会については5年から10年、専念できる常駐職員を任命してほしい。人事異動があるならば万全の引継ぎを。人が変わって同じ話の繰り返し返しが行政には多い。</p> <p>例えば、ブランド推進課で話をしてきた職員が秘書課に移動した実例がある。</p>	<p>⇒即答できないが承った。</p>
	<p>※学区と自治会と投票所がマッチングしていない。藤が丘もそうであるし、大山田も二丁目なら近くの大山田東小に行けない。防災事案も含め、どこに聞いても正確な答えが出ない。</p>	<p>※桑名の場合、基本は小学校区である。しかし大山田の場合、藤が丘が1~3丁目は大山田東小、4~9丁目は藤が丘小学校、新西方は藤が丘小で自治会は大和だったり、星見が丘も七和学区だったりする。悩ましい。老人会からも藤が丘学区で一緒にしたいとか、1~3丁目も一緒にやりたいとも聞く。小学校区内外の諸事情を整理する要望はあり教委も考えているのだが、地域の皆さんの学校に対する心情的な思いもありすんなりいかない。</p>
	<p>※大山田東小は児童増加に伴うプレハブの多さ、児童数900人であふれている。陽だまりの造成が進んでからである。東小は子ども遊び場もない。子どもには外遊びが重要だが、現在進行中の増築工事のためそれができていない。桑名市最多児童数小学校区の幼稚園は閉鎖され、陵成(旧藤が丘)幼稚園に移転となったが、陽だまりから通うのは大変で、実際光陵幼稚園に結構通っている。</p> <p>長いスパンで見ると陽だまりはまだ造成中、子どもの環境は考えられているのか。大山田東小児童の扱いが雑である。一案としてスクールバスがあるが、全体として配慮がなく対応が追い付いていない印象。</p>	<p>※唯一スクールバスが出ているのが、桑名市では多度青葉小である。</p>

<p>一生に一回しかない小学校生活。今の状態でよいのか。</p> <p>学校、学区、まちづくり、重要な課題が10年先、15年先を見据えての市からの提案との印象を持った。アメリカ在住経験があるが、黄色いスクールバスである。多度や長島はそれでやれないのか。</p> <p>ちぐはぐな印象は教委の動きが原因なのか、市民の声を聞き取るパイプが細いのか。</p> <p>例えば陽だまりからは大山田西小に行けばいい。</p> <p>⇒城南小よりも大山田東小は歩く距離は短い、規模の問題として提起している。</p>	<p>⇒学校選択制の要望として承った。</p>
<p>※(仮称)まちづくり協議会の課題の一つは地域防災である。地震。ライフラインが止まったときにどう過ごすか、地域としてどうするか、桑名市にはマニュアルがない。</p> <p>四日市市のマニュアルを見せてもらいがっかりした。桑名市でもつくるべきだが、現行自治会では対応できかねる懸念がある。地域防災、避難所運営など。HUG(避難所運営ゲーム)の話を知っているのも自治会長のごく一部。ほとんどの住民は知らない。まちづくりはお金と場所でするものではなく、特に避難所運営のやり方や方法論を教えてほしい。早急な防災マニュアルの配布を望む。</p> <p>⇒21号台風の際、避難所はどこが開設されたか？</p> <p>⇒修徳地区でやったような訓練を大山田地区でもやる必要がある。火事の心配もある。</p> <p>(仮称)まちづくり協議会で言うならば、繰り返しになるが、担当職員にしっかり対応してもらいたい。自治会との関係もまだわかりにくい。</p> <p>⇒大山田二丁目に自主防災組織はできているが機能していないとの思い。防災訓練には800人のうち10人の参加。</p>	<p>※三年に一度の防災訓練で、提案をするとある程度は対応可。</p> <p>⇒修徳小は開設された。</p> <p>⇒(仮称)まちづくり協議会は連合自治会がやってもいい。別のものをつくってもらってもいい。これからは地区事情により異なるだろう。例えばマンションのある地区等では先行しつつある。</p> <p>⇒市内には伊勢湾台風への恐怖がいまでも残っている地域がある。近隣スーパーへの避難も考慮し、何度も双方の課題を出し合い解決した。スーパー側は事故等への対応の不安があった。</p>

		課題解決には繰り返しによる少しずつの前進が大事。
	※なんでも相談センターはとてもよかった。	※コミュニティは高齢者だけでなく、乳幼児からお年寄りまでおられ、
		なんでも相談できるので活用していただきたい。

参加者からの 意見・要望等	<p>※大垣社協の話聞いた。地区社協単位でまちづくりをやっている。大山田には地域の集会所がないのであればとも希望するが、桑名は託老所中心である。公助が先細る中、共助の考え方で地域での役割が増すが、拠点がないと難しい。大垣の拠点単位は小学校単位で、桑名に小学校単位なら連合自治会があるが、自治会は役員構成が毎年変わり、継続性がない。</p>
	<p>※一軒の空き家を借り宝くじ助成で地域の皆さんが集まる拠点を作った。維持管理も含めまちづくりとはそういうものでは？</p>
	<p>※大山田における学区の問題。藤が丘区域内での分離登校や新西方の関係。自治会は大和自治会に所属。星見が丘は七和学区帰属等、未整理の問題。</p>
	<p>※木曾三川商工会への補助金の問題。ただ補助金削減を訴えるばかりに見える。提案がない印象。しかし、若手経営者はマルシェの開催等積極的。</p>
	<p>※昨年度経常収支比率の問題。合併特例債、合併算定替え、消費税等々、細かく検討してみたが、周知がもっと必要ではないか。市の側の努力も求めたい。ファックスの問題一つとっても、市民の声を直接取り上げ海南病院は一か月に設置している。</p>
	<p>・</p>
	<p>・</p>
	<p>・</p>
	<p>・</p>
	<p>・</p>

